

新たな感染症に備えるため、  
自然災害時の対応のため、  
国の責任で

●必要な人員体制の確保  
●公立・公的病院や保健所  
の拡充・機能強化  
を求めています。



私たちは  
医師・看護師・  
介護職員などの  
大幅増員を  
求めています

#### めざすべき看護体制

■病棟	198万5,000人
■外来	35万5,000人
■訪問看護	24万人
■介護保険関係、学校養成所、保健所など	36万3,000人+α
■合計	300万人

私たちは  
安全・安心の医療・介護実現  
のため人員増と処遇改善を求める  
国会請願にとりこんでいます

#### 請願事項

1. 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、安定した人員確保のためにも、ケア労働者の大幅賃上げを支援すること。
2. 医療や介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境を抜本的に改善すること。
  - ①労働時間の上限規制や勤務間インターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設け、実効性を確保するための財政的支援を行うこと。
  - ②夜勤交替制労働者の過労働時間を短縮すること。
  - ③介護施設や有床診療所などで行われている「1人夜勤体制」をなくし、複数夜勤体制とすること。
3. 新たな感染症や災害対策に備えるため、公立・公的病院を拡充・強化し、保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充すること。
4. 患者・利用者の負担軽減を図ること。

署名にご協力  
ください



日本医療労働組合連合会(日本医労連)

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5日本医療労働会館3階  
電話03-3875-5871 Email n-ask@irouren.or.jp

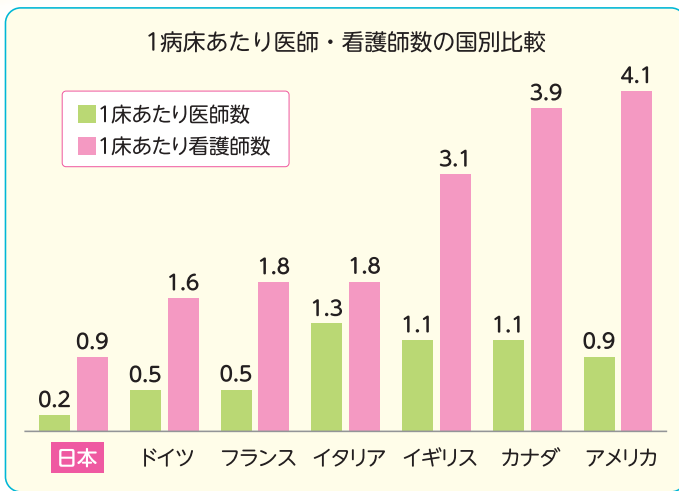
安全・安心の医療・介護実現のため、  
医師・看護師・  
介護職員の  
大幅増員を



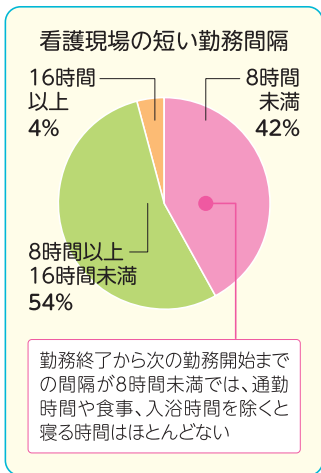
# 私たちは必要な人員確保、 公立・公的病院や保健所の 拡充を求めています



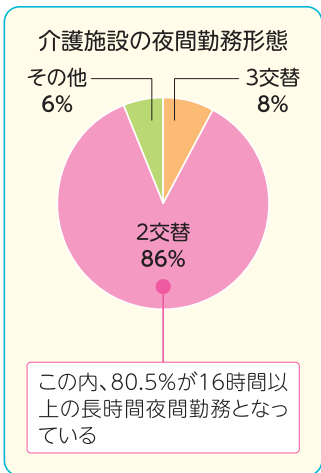
新型コロナウイルス感染の拡大により、入院が必要にもかかわらず入院できない「医療崩壊」や、介護を受けたくても受けられない「介護崩壊」が現実となりました。これは、感染対策の遅れはもちろんのこと、他の先進諸国と比べても圧倒的に少ない医師や看護師、介護職員や保健師の不足が根本的な原因です。



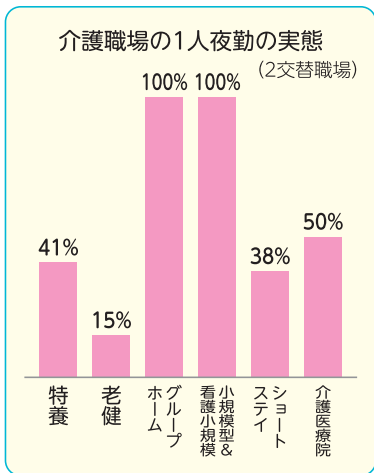
出所「OECD Health Statistics2020」[OECD Stat.]



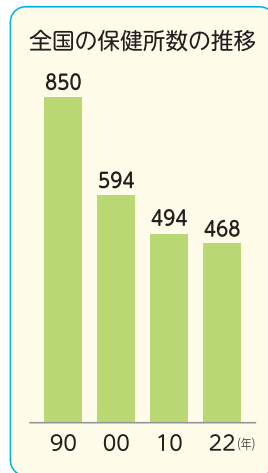
出所「日本医労連2021年度夜勤実態調査」



出所「日本医労連2021年介護施設夜勤実態調査」



出所「日本医労連2021年介護施設夜勤実態調査 職場単位の夜勤配置・2交替職場」より



出所「厚生労働省健康局健康課地域保健室」調べ

余裕ができれば、**もっと**  
患者さんに寄りそえます

患者さんに  
寄りそいたい



患者さんの隣に座って今どう思っているのか、今後どのように生活していきたいのかなどを聴き取り、そのためにはどうしていけばいいのかを一緒に考えたい。

(北海道／看護師・4年目)

もっといい  
看護がしたい

目を見て看護がしたい。「ちょっと待って」のない看護がしたい。日常生活援助の場面では常に患者さんの尊厳を守りたい。(埼玉)



人手を  
増やして



患者さんが満足いくまで質問・不安・悲しみなどの話を聞き、不安・不満を軽減したい。リハビリにつながる日常生活援助をしたい。セルフケアの不足を補いたい。

(和歌山／看護師・25年目)

日本は他の先進国と比べても医師、看護師、介護職員、保健師が不足しています